

JJ-20.10

**PBX - TDM間 デジタルインタフェース
(個別線信号方式) - 概説**

Digital Interface between PBX and TDM
(Channel Associated Signalling) - Outline

第1版

1987年4月28日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

< 参考 >

1. 国際勧告等との関連

本標準に関連する国際勧告はない。

2. 改版の履歴

版 数	発 行 日	改 版 内 容
第 1 版	昭和 6 2 年 4 月 2 8 日	制 定

3. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

目 次

1. 概要	1
2. 適用対象	1
3. 関連標準の構成	1

1. 概要

PBX間をデジタル専用線と時分割多重化装置（TDM）を介して接続する時のPBX-TDM間デジタルインタフェースに適用する個別線信号方式の概要を述べる。

PBX-TDM間デジタルインタフェースは、電氣的条件、物理的條件および当該インタフェースを介してPBX間で送受する制御信号によって規定される。

詳細については、標準JJ-20.11（電気物理条件）及びJJ-20.12（PBX-PBX間信号規定）に記述される。

本標準のインタフェースは以下の機能を持つ。

- (1) 複数の通信チャネルを多重化する
- (2) 通信チャネル毎に対応する制御信号を送受する
- (3) インタフェース障害の警報を転送する
- (4) クロック情報を転送する

2. 適用対象

本標準のインタフェースは、図2-1/JJ-20.10に示す接続形態に適用される。

なお、PBX-PBX間信号規定では、図2-2/JJ-20.10に示すような接続形態も考慮してある。

3. 関連標準の構成

関連の標準は、次により構成される。

- (1) JJ-20.10 : 概説
- (2) JJ-20.11 : 電気物理条件
- (3) JJ-20.12 : PBX-PBX間信号規定

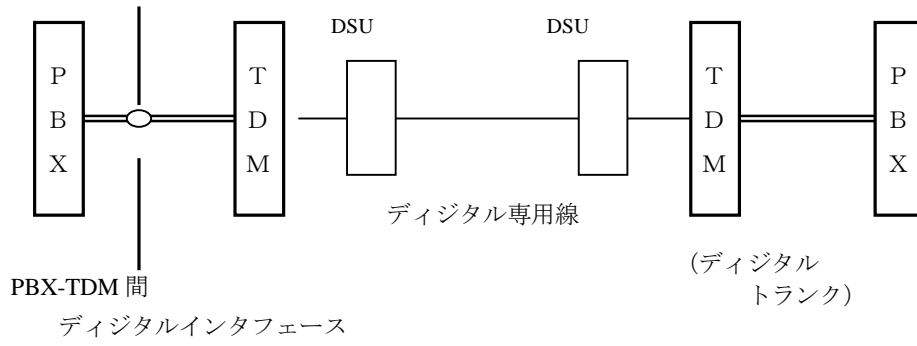


図 2-1 / J J-20. 10 接続形態と本標準のインタフェースの位置づけ

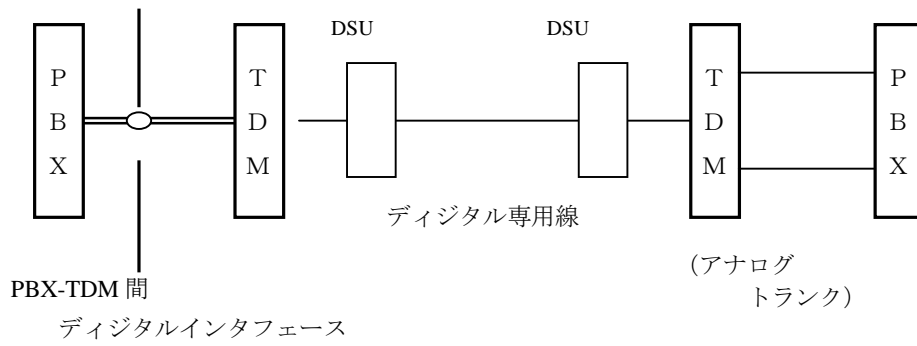


図 2-2 / J J-20. 10 PBX-PBX間信号規定で考慮した接続形態

第1版執筆作成協力者（昭和62年3月31日現在）

（JJ-20.10の制定）

第三部会	第二分科会	（敬称略）		
主査	柏村 卓男	日本電信電話(株)		
副主査	青木 賢三	富士通(株)		
	吉田慎一郎	日本電信電話(株)	穴沢 秀夫	東京電力(株)
	大木 幹夫	明星電気(株)	土田 勲	(株)トーメン
	杉本 晴重	沖電気工業(株)	青木 直孝	日本アイ・ビー・エム(株)
	松下 恵治	日本電気(株)	川村 雅生	日本情報通信(株)
	小野 勲	日本ユニシス(株)	板倉 幸雄	藤倉電線(株)
	草場 彰	(株)日立製作所	岩橋 努	三菱電機(株)
	西原 勉	住友電気工業(株)	閏井 清	(株)東芝
	竹原 啓五	日本通信協力(株)		